**目標達成シートについて**

**１．はじめに**

「目標達成シート」は、言葉を豊かにするために、自分自身を見つめながら、目標を立て、目標達成のために、どんなことを行っていくのか記入して（書き込んで）いくものとなっています。

子供たちは、学校だけでなく、様々な場面で目標を立てることをしています。目標を立てることは、モチベーションを上げたり保ったりする上で有効であると言われています。

しかし、目標を立てること自体が目的化してしまったり、目標に対しての具体的な行動が起こせなかったりしている子供は少なくないと感じています。また、具体的な行動が起こせないため、振り返りを行う際にも、形式的な振り返りに留まってしまい、成果や課題を見付けることが出来ない子供たちもいます。こうした実態は、目標が形骸化してしまっている状態と言えるかもしれません。

「目標達成シート」は、単に言葉に対する目標を立てるだけでなく、自分自身を見つめる力、いわゆるメタ認知能力を高めることもねらっています。自分を見つめて、自分自身を客観的、俯瞰的に見ることができるようになることで、目標を立てたり、具体的な行動を考えたりすることが可能になってくると考え作成しました。

この「目標達成シート」の項目や文言は、発達段階や学級の実態等に応じて、より子供一人一人に合ったものに変えて使用していただけたらと思います。子供たちが目標を達成するだけでなく、自分自身を見つめる力を身に付け、よりよい人生を切り拓いていくことの一助となれば幸いです。

**２．「目標達成シート」各項目のねらい**

**目標達成シート（記入例）**

**〇言葉をたくさん知って「こんなことをしたい、してあげたい」「こんな自分になりたい」**

|  |  |
| --- | --- |
| **こんなことをしたい、してあげたい** | **こんな自分になりたい** |
| **１年生のお世話をするときに、分かりやすい言葉で説明できるようにしたい** | **自分の考えや思いをきちんと言葉で表現できるようになりたい** |

|  |  |
| --- | --- |
| **こんなことをしたい、してあげたい** | **こんな自分になりたい** |
| **本をたくさん読んで、本から多くの言葉を学んでいけるようにしたい** | **場面や状況に応じて、適切に言葉を使用できる人になりたい** |

**○言葉をたくさん知って「こんなことをしたい、してあげたい」「こんな自分になりたい」**

➡大きな目標（ビジョン）を実現するためには、長期・中期・短期的目標に区切るとよいと言われています。とりわけ今回は、「生涯にわたって言葉を豊かにしていってほしい」という願いがあったので、「将来的にどうなりたいか」という長期的な視点で目標設定を行いました。また、小学校５年生に目標設定させましたので、「小学校卒業までに」という短期あるいは中期的な目標設定も行いました。さらに、他者に貢献していると感じることが意欲の向上につながるという研究もありますので、「してあげたい」という言葉を入れる工夫を行いながら作成しました。

**〇そのために行うことと具体的な計画**

|  |  |
| --- | --- |
| **行うこと** | **具体的な計画** |
| **分からない言葉があったら意味を調べて、使えるようにする** | **１日に１個以上、分からない言葉を辞書やインターネットで調べ、記録していく** |

**○そのために行うことと具体的な計画**

➡立てた目標を達成するための具体的な行動と計画を立てさせます。その際、できるだけ数値を入れるなどした計画を立てさせ、振り返る際に評価しやすくなるようにしました。

**〇計画を実行する際にかべとなりそうなことと解決策**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **かべとなりそうなこと** | **解決策** |
| **自分の行動や性格から** | **三日坊主になりやすい** | **・宿題だと思って、宿題と一緒にやるようにする**  **・友達と声をかけあったり、一緒にやったりする** |
| **外部（自分以外）のこと** | **習い事が忙しくて、毎日できないかもしれない** | **できなかった日の分は、週末にやり、調整できるようにする** |

**○計画を実行する際にかべとなりそうなことと解決策**

➡「計画倒れ」「絵に描いた餅」「頓挫」等の言葉があるように、目標を立て、計画を練っても、思い通りに進まないことがあります。そこで、立てた計画に対して、「障壁」となりそうな事柄を予め考えておくとともに、その障壁に対して、どう解決していくかを考えさせました。また、障壁を考えていく際には、自分自身の行動パターンや性格から考える内的要因と自分以外の要因である外的要因の二つの観点で考えることで、計画を実行できるように考えました。

**３．目標達成シートの活用場面**

本研究では、単元の初めの時間に、児童が、これまでの生活体験を振り返り、使った言葉によって、物事が円滑に進んだ時のことや想定通りにいかなかった経験を思い出し、話し合う活動を行い、語彙に対する興味・関心が出てきた時点で記入をさせました。また、単元の学習を進めていく中で、新たな目標が生まれた場合は随時更新することも可能だと伝えました。

目標達成シートは、いつからでも使っていただくことは可能ですが、語彙に対する興味・関心が高まった状態で使用していただくとよいと考えます。また、記入した目標が形骸化しないように、定期的に振り返るとともに、目標自体を見直していくことも必要だと考えます。

**４．より効果的にお使いいただくための活用例**

**☆デジタルワークシートとして利用**

「目標達成シート」は、紙に印刷していただいて利用していただくことも可能ですが、デジタルとして利用していただくことで、紙面の範囲にとらわれず、好きなだけ記述することが可能になります。また、必要に応じて、随時、書き加えたり、削除したりすることができます。フォントの調整をはじめ、ツールの機能を使えば、子供たち一人一人が自分に合ったシートに変えていくことができると考えています。

**☆共有クラウドを活用して他者参照できるようにする**

共有クラウド等を活用すれば、他者のシートも参照することができます。検証授業時にも、一人１台端末で他者のシートを参照することで、自らの目標や計画を立てる際に参考にしていた児童がいました。

**☆他機能等との連携させる**

スケジュールアプリやスケジュール帳などを一緒に利用することで、より効果が表れると考えられます。また、計画を実行できたかどうかのチェックリストや振り返り欄を設けたり、それらの機能があるアプリ等と連携したりすることで、さらに目標を達成しやすくなると考えます。

**☆子供に創意工夫させ利用させる**

シートを作ること自体を目的としては意味がありませんが、子供たち自身が、目標を達成するために自分に合った形でシートをカスタマイズしていくことが何より効果的と考えます。検証授業の際にも、他のデジタルワークシートのURLをリンクしている児童がいました。また、友達がそのシートを見て、自分のシートにも反映させていました。子供たちの創意工夫は、とても効果があると考えます。